



気付き、考え、実行する茂木っ子

もぎたて通信



令和7年2月7日 第25号

文責：校長 北村 和則



2月生活目標

ていねいな言葉遣いを心がけよう。ろうかはしずかに「はさみ歩き」をしよう。

2月の全校朝会では、校長から次のような話をしました。

さて、みなさんは、『世界で一番美しい言葉』は何でしょう。」と聞かれたら、何だと答えますか。校長先生は、こう答えます。それは「ありがとう」という言葉です、と。

特に、みなさんの中には、校長先生が一声かけるだけで、えんぴつや消しゴムを拾ってあげるだけで、この言葉をよく使う人もいます。とても、うれしい気持ちになるし、使っているみなさんもすてきに見えます。

この「ありがとう」という言葉を、漢字を使って書くと、「有難う」。「有る」ことが「難しい」と書きます。滅多にないことですよ。珍しくて貴重なことですよ。という意味です。

みなさんは、どんな時にこの言葉を使っていますか。困っている時に、助けてもらった時ですか。それとも、欲しい物を買ってもらった時ですか。そうですね。自分にとってうれしい時によく使っていますね。

では、こんな時はどうですか。

「朝、起こしてもらった時」、「ご飯をつくってもらった時」、「誉めてもらった時」、「叱ってもらった時」…。どうですか。

みなさんにとって、自分の親が子どもを起こすのは当たり前。ご飯を用意するのも当たり前。いいことをしたり、頑張ったら、誉めてもらうのが当たり前、と思っている人が多いのではないでしょうか。叱られて、「ありがとう」なんて言う訳がない。と思う人も多いでしょう。ですが、みなさんが当たり前だと考えている「朝、起こす」「ご飯を用意する」「誉める」などを、してもらえなかったら、どうでしょう。あるいは、悪いことをしたり、怠けている時に叱ってもらえなかったら、みなさんはどうなっていくのでしょうか。

みなさんにとって当たり前に感じていることでも、実は、「有ることが難しく」「大変貴重なこと」が多いのです。もっと言えば、当たり前に感じていることが、珍しいこと、貴重なことだと感じていれば、今まで以上に幸せな気持ちになれるですね。

さあ、自分も幸せな気持ちになり、相手もうれしい気持ちになれる、この「ありがとう」という言葉。毎日、たくさん使うようにしましょう。

さて、ご家庭では、感謝の言葉「ありがとう」が増えているでしょうか。私たち大人も手本としてたくさん使っていききたいものです。



積雪・凍結

5日朝はひどく冷え込み、前夜からの積雪で道路凍結が見られました。保護者のみなさんも通勤等でご苦労されたのではないのでしょうか。子どもたちは、雪を集めながら元気に登校してきました。登校してくる子どもたちは、「校長先生、雪遊びできる?」「先生、雪合戦できる?」と次々に質問攻めでした。「先生方が話し合って決めるよ!」と答えると、「校長

先生がしてよかといってよ!」と攻められました。先生方の話合いの結果、朝から子どもたちと先生方は運動場へ! 満面の笑みの子どもたち。雪を集めて雪だるまを作ったり、雪を丸めて雪合戦したりと大きな笑い声とはじけた笑顔が素敵な時間になりました。これも、教育の1つと強く感じた瞬間です。明日も積雪や凍結が予想されています。朝方の気温は0℃と予想されています。道路凍結が予想されます。安全第一に、お過ごしください。

